



湖北方面から望む田園と琵琶湖（滋賀県長浜市）

世界農業遺産



もり 森 ・ さと 里 ・ うみ 湖 に 育 ま れ る は く くに ぎ ゃう 漁 業 と の う ぎ やう 農 業 が 織 り な す
琵琶湖 びわこ  **システム**

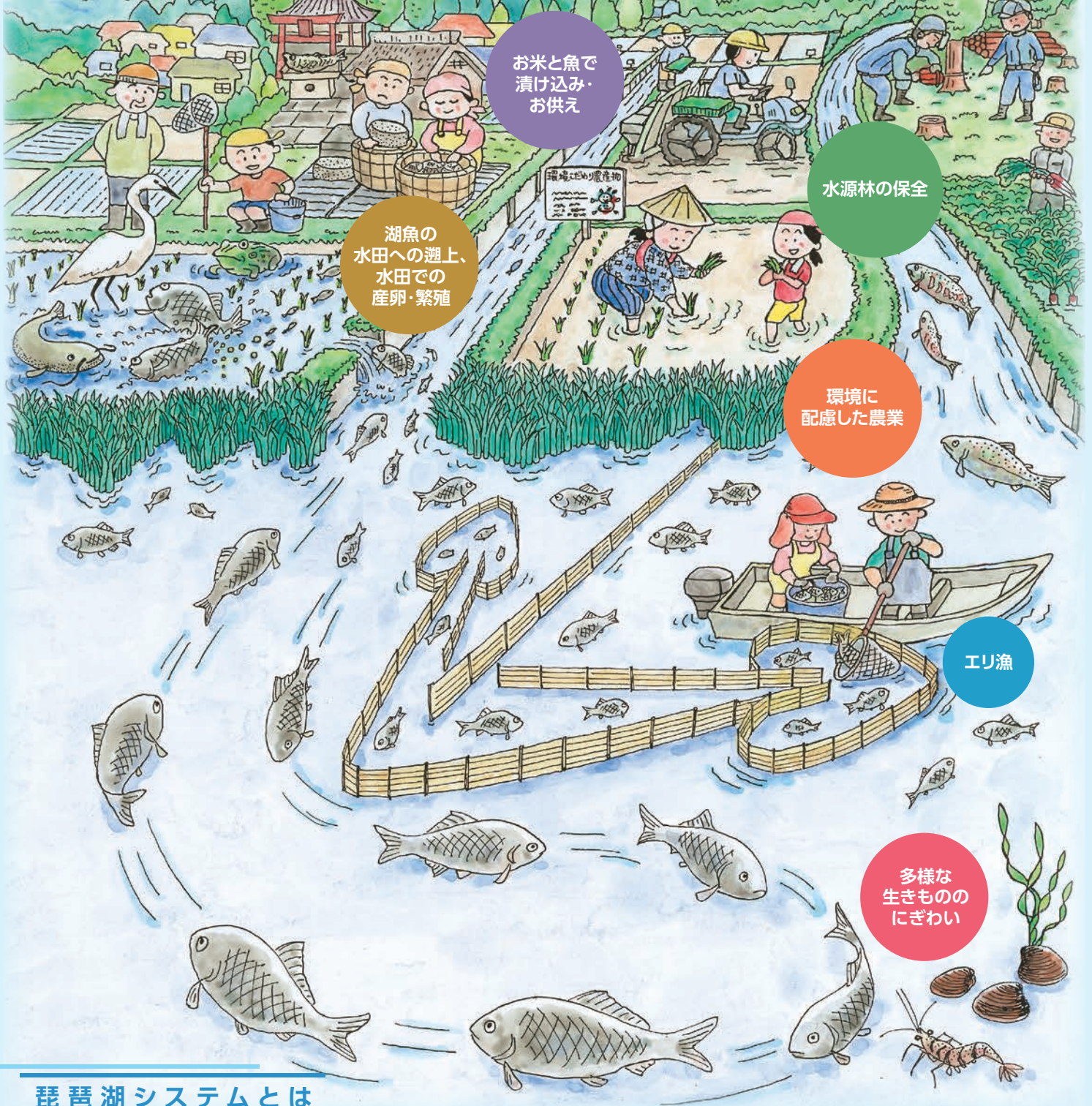


琵琶湖に設置された小型定置網「エリ」（滋賀県高島市）

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会

未来につながる「琵琶湖システム」

循環型の生業(漁業・農業)システム



琵琶湖システムとは

「琵琶湖システム」とは、琵琶湖を中心とした、人、生きもの、自然が共存する持続的な農林水産業（琵琶湖と共生する農林水産業）の仕組みのことです。

琵琶湖周辺の水田は、琵琶湖の固有種であるニゴロブナなどの湖魚に絶好の繁殖環境を提供してきました。繁殖期にヨシ帯や水田などに向かってくる湖魚の生態を巧みに利用してきた「エリ漁」は、資源にやさしい伝統的な「待ちの漁法」の代表格です。また、琵琶湖や周辺環境に配慮した農業が実践されており、多様な主体による森林保全の営みは河川に遡上する湖魚などの繁殖環境の保全に寄与しています。森、川、水田、湖はつながっており、そのつながりは、世界的に貴重なものです。

この「琵琶湖システム」は、千年以上に渡って受け継がれてきたもので、平成31年（2019年）2月に農林水産省により「日本農業遺産」に認定され、令和4年（2022年）7月にFAO（国連食糧農業機関）の「世界農業遺産」に認定されました。

農

湖魚が産卵にやってくる水田 (魚のゆりかご水田)

●ニゴロブナなどの湖魚の産卵・育成には、湖辺のヨシ帯や水田が大きな役割を担っています。それらの湖魚は、繁殖期を迎える5月頃、湖辺のヨシ帯や水田にやってきて産卵します。



ニゴロブナ (琵琶湖博物館より提供)



水田を泳ぐ稚魚

●この時期の水田は、水が温かく、プランクトンなどの餌が豊富で、外敵が少ないことから、稚魚の育成に適しています。

●こうした水田は「魚のゆりかご水田」と呼ばれ、水産資源を守り、豊かな生きものを育むなど、生物多様性の保全にも寄与しています。

漁

伝統的な「待ちの漁法」と資源保全

●琵琶湖漁業を代表するエリ漁は千年以上の歴史を有する伝統漁法です。平安時代には和歌が詠まれ、明治時代には絵図が描かれるなど、当時の様子が今に伝えられています。



明治時代のエリ漁の絵図 (琵琶湖博物館より提供)

●エリ漁は、琵琶湖を回遊する湖魚の生態を巧みに利用し、ツボと呼ばれる部分に魚を誘導して捕獲する待ち受け型の漁法です。この漁法は必要な量だけ漁獲できる持続可能な漁法です。

●エリの設置制限や禁漁区の設置など、江戸時代以前から続く資源を保全する考え方も、現在に受け継がれています。



エリ漁

農

琵琶湖の環境に配慮した農業

●琵琶湖の水質や生態系保全のために、多くの農業者が「環境こだわり農業」や地域の共同活動を支える「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」などに取り組んでいます。その結果、農地は多様な生きものを育む場にもなっています。



環境こだわり農産物



環境こだわり農産物 とは?

化学合成農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下にして生産し、さらに泥水を流さないなど、琵琶湖をはじめ、環境にやさしい技術で栽培された農産物のことです。

食

ふなずしなど伝統的食文化と祭礼

●食文化の代表は、湖魚をご飯に漬けて発酵させる保存食で、近年、健康面での価値も見直されている「なれずし」です。

●先人たちの知恵と工夫が詰まった「近江なれずし製造技術」は国の登録無形民俗文化財に登録されています。

●中でも、ふなずしは贈答品や祭礼の供え物としても用いられ、人々の絆の醸成にも寄与してきました。



ずし切り祭り



ふなずし

林

水源林の保全

●琵琶湖を取り巻く山々では、明治時代以降、森林緑化が進められました。これにより、洪水防止や河川の濁水防止が図られ、河川を遡って産卵する湖魚の繁殖環境の保全にもつながっています。

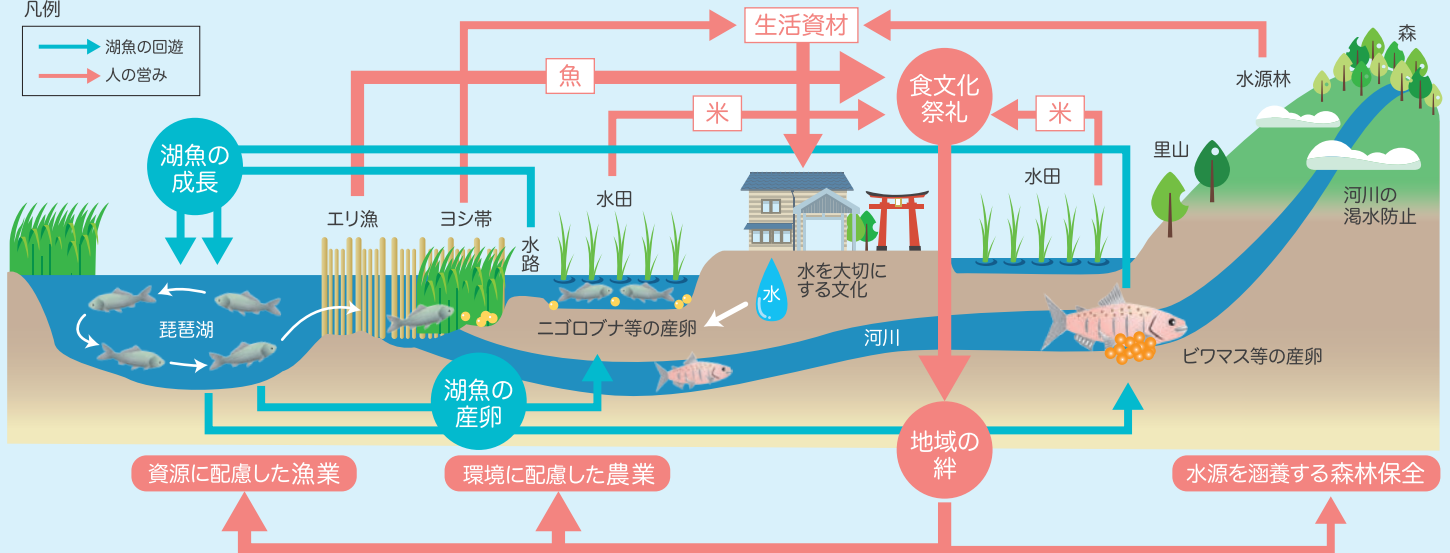
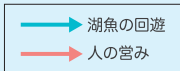
●水源林の保全には、林業者に限らず、次世代を担う子どもたちや地域住民等、多くの方々が参画しています。



森林保全活動

森、川、水田、湖のつながり (概念図)

凡例



「琵琶湖システム」が誇る“豊かな食”

近江米



琵琶湖の恵み



近江の伝統野菜



滋賀の食をもっと

米、湖魚、野菜以外にも、滋賀にはおいしい県産食材やそれらを使ったグルメがあります。各HPは二次元コードよりご覧いただけます。



「琵琶湖システム」ロゴマークについて



「琵琶湖システム」ロゴマークを活用しませんか？

環境こだわり農産物や魚のゆりかご水田米、琵琶湖の水産物などの産品、それら加工品のほか、環境保全活動や体験活動にも活用いただけます。ロゴマーク利用に関する届けは、右の二次元コードからご確認ください。



世界農業遺産 / 日本農業遺産とは…

世界農業遺産 (Globally Important Agricultural Heritage Systems: GIAHS (ジアス)) は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり発達し、形づくられてきた伝統的な農林水産業と、それに関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農林水産業システムを国連食糧農業機関 (FAO) が認定する仕組みです。「日本農業遺産」は農林水産省が認定する国内版の制度です。

世界農業遺産認定の効果



Mother Lake Goals
変えよう、あなたと私から

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業は、国連の定めた持続可能な開発目標 (SDGs) の17の目標の達成に寄与しており、特に「6 Clean Water and Sanitation (安全な水を世界に)」、「14 Life below Water (水産資源の保全)」、「15 Life on Land (陸域生態系の保全)」、「17 Partnerships for the Goals (パートナーシップで目標を達成しよう)」などの達成にも貢献しています。また、琵琶湖版SDGsであるマザーレイクゴールズ (MLGs) にも貢献しています。

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会とは

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会は、「琵琶湖システム」の維持・保全と、活力ある地域づくりに向けた活動をより力強く進める組織として、平成30年 (2018年) 3月に設立しました。本協議会には、当地域すべての自治体と、農林漁業者団体、関係団体、大学・研究機関、企業、住民、消費者等の多様な主体が参加しています。

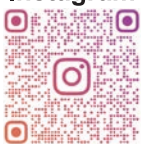


「琵琶湖システム」SNS各種・お問い合わせ

facebook



Instagram



公式ホームページ



琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会

(事務局:滋賀県農政水産部農政課 企画・世界農業遺産係)
住所:滋賀県大津市京町四丁目1-1
TEL:077-528-3825 FAX:077-528-4880
E-mail:shiga-giahs@pref.shiga.lg.jp